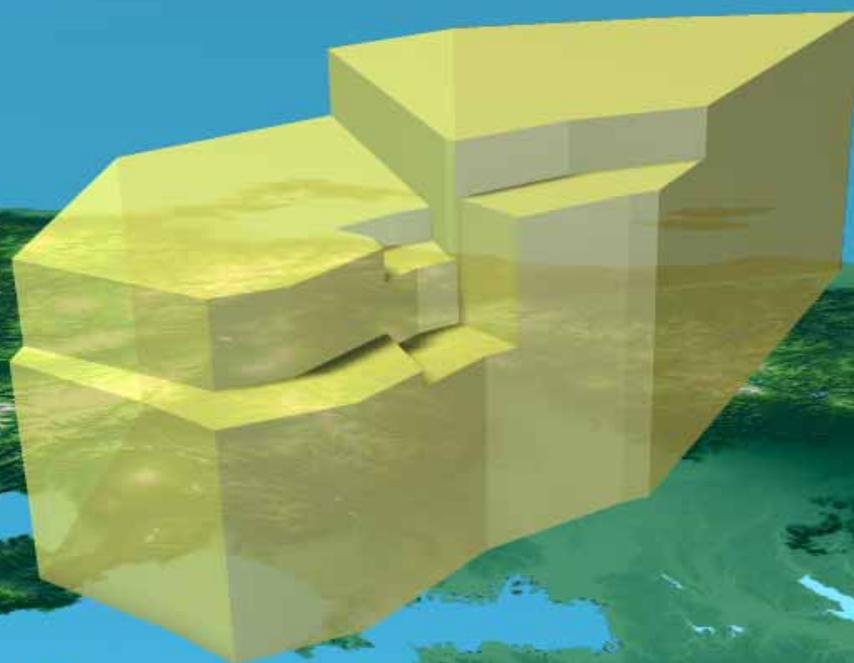


横田空域の 民間航空機利用について

空域の早期返還



2006年5月

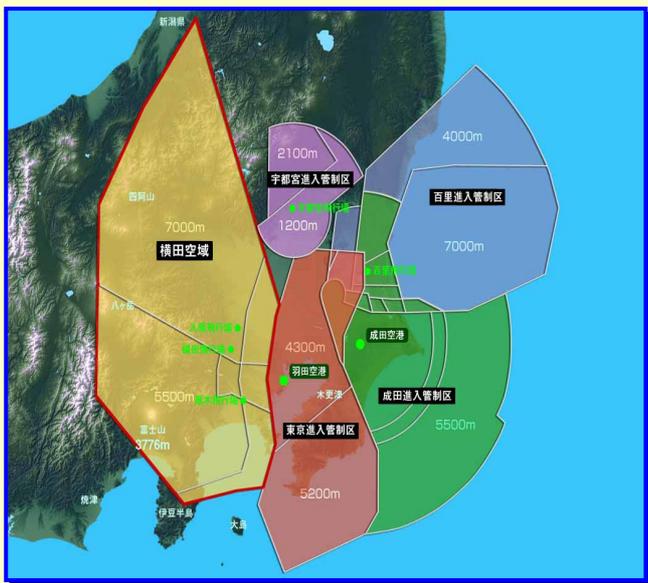
定期航空協会

〒105-0014 東京都港区芝3-1-15 芝ポートビル8階
TEL:03-5445-7136(代)
FAX:03-5445-9527
URL:<http://www.teikokyo.gr.jp>

©2006 定期航空協会

1. 横田空域の存在は民間航空機の効率的な飛行の妨げになっています

首都圏の空域(平面図・立体図)



横田空域とは・・・

航空機は、上空の決められた領域の中を飛行しています。これを「飛行空域」と呼んでいます。

現在、首都圏には飛行空域が5つ存在しています。横田空域は、羽田空港の西側に位置する首都圏最大の飛行空域ですが、現在は在日米軍の管理下にあります。

羽田空港からの出発経路

西方面行きの出発便は、大阪行き(*)を除き、横田空域を避けて、その上空を通過しなければなりません。

このため、羽田空港を離陸した航空機は、あらかじめ東京湾内で大回りしながら、横田空域上空を飛び越えるための高度まで上昇を行う必要があります。

(*) 羽田発大阪行きについては、横田空域が通過可能となるよう、昭和37年に運輸省と米軍との間で特別に措置されましたが、横田空域通過後、最適飛行高度まで再上昇しなければならず、依然、非効率な飛行となっています。

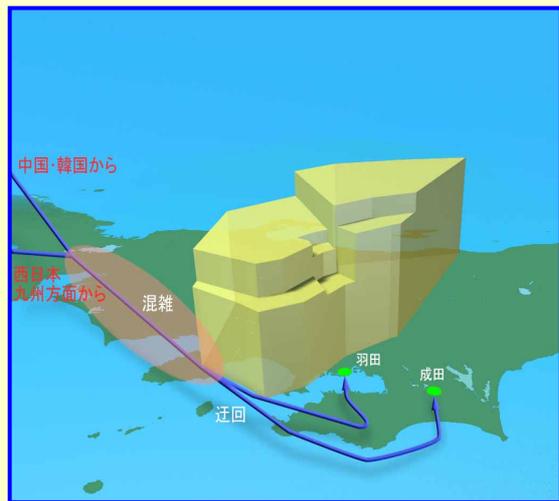


羽田・成田空港への到着経路

西方面から羽田空港へ向かう到着便も、横田空域を避けて飛行しています。

また、中国、韓国から成田空港へ向かう到着便も同様の迂回経路を飛行しています。

さらに、羽田空港行きと成田空港行きは同じ経路を飛行しなければならず、混雑が発生しています。



2. 横田空域を避けて飛行することにより、さまざまな影響が出ています

飛行距離、飛行時間の増大



消費燃料の増加と、それに伴うCO2排出量の増加

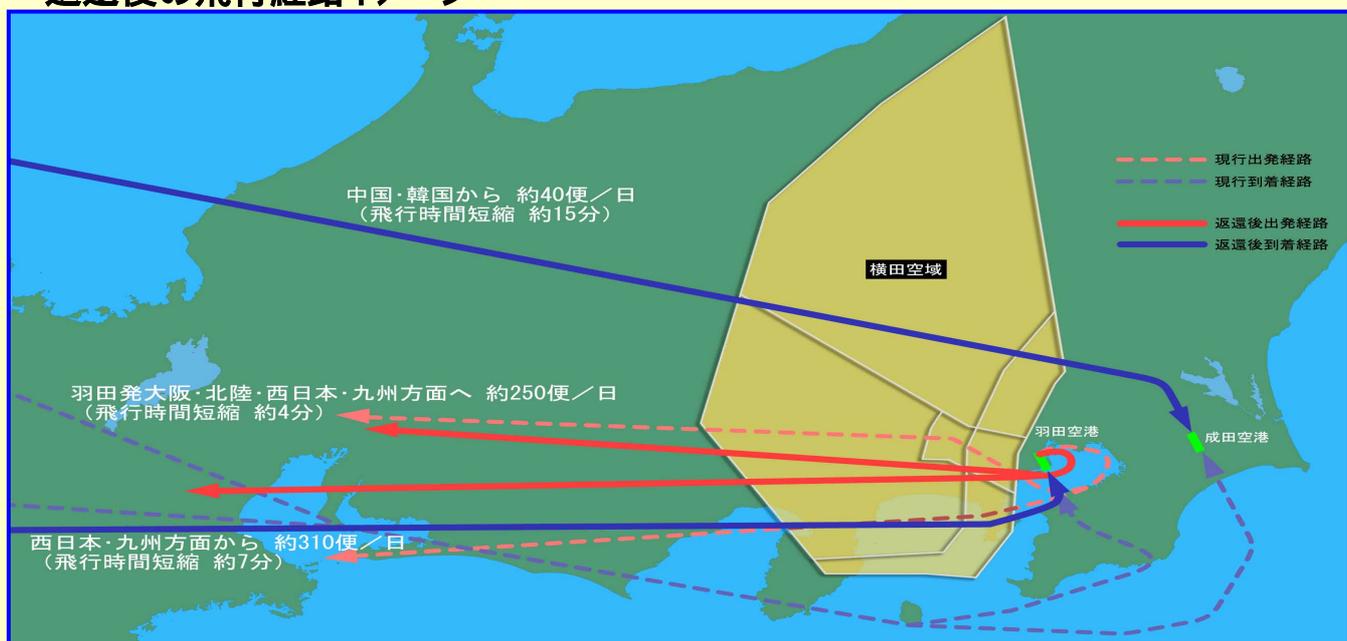


空域の混雑



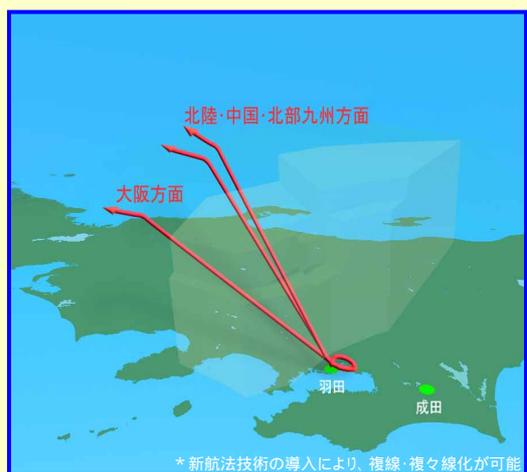
3. 横田空域の返還により、効率的な飛行が可能となります

返還後の飛行経路イメージ



羽田空港からの出発経路

羽田空港発西方面行きの出発便は、東京湾上空における無駄な大回り(上昇)が不要となるため、飛行距離及び飛行時間が短縮されます。また、交通混雑も緩和されます。



羽田・成田空港への到着経路

西方面から羽田空港、成田空港へ向かう到着便は、横田空域を迂回する必要がなくなり、飛行距離や飛行時間が短縮されます。また、到着空港別に飛行経路を設定することが可能となるため、交通混雑も緩和されます。



4. 横田空域の早期返還はわが国の経済・社会に大きく貢献します

◇ 飛行時間短縮により得られる日本経済への波及効果

(航空利用者の時間価値 ¥3540/時) (1)



約140億円 / 年

◇ 省エネ効果 (燃料削減及びこれに伴うCO2排出削減効果)



燃料削減 = 約11万k / 年

(定期航空協会試算)

羽田発大阪行きの消費燃料
約1年分に相当



CO₂削減 = 約28万トン / 年

(定期航空協会試算)

一般家庭の1年間の電気使用
約13万世帯分に相当

(東京都目黒区の世帯数と同規模) (2)



(1) 出典: 国土交通省航空局

(2) 出典: 独立行政法人 国立環境研究所 地球環境研究センター、東京都HP「東京都の人口(推計)」平成18年2月1日現在

横田空域の返還により、効率的な飛行経路の柔軟な設定が可能となり、大きな経済・社会効果が期待されることから、2009年の羽田空港再拡張を待つことなく、横田空域の返還を早期に実現すべきです。